

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, August, 2006

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

8月の状況 (佐藤)

177P/Barnard 2 = P/2006 M3 (写真 a, b)

8月に入って条件は良くなっているのだが、かなり拡散しており市街から離れた場所と透明度の良い時でない見えにくかったのではないだろうか。実際筆者も郊外で観測したが、空の状態があまり良くなく、海外などで報告される光度よりだいぶ暗く見積もっている。

吉田誠一氏は、oaa-comet メーリングリストで次のようにコメントしている。「117年ぶりに戻って来た、噂のバーナード第2彗星です。悪天候のため、ようやく見る事ができました。かなり集光が弱く、淡いです。中心部が平べったい、星雲状です。しかし、意外とそんなには大きくない印象です。55P/Tempel-Tuttle を思い出しました。」

海外の眼視観測では、8月20.95日 UT、スペインの Jose Carvajal が 7x50 双眼鏡で、 $m_1 = 7.8$, Dia. = 14 , DC = 2/と観測した。

177P/Barnard 2 の眼視観測は次のとおり。

2006	UT	m_1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Aug.	22.55	9.1	8.5	2	-	-	-	-	36×40cmL	吉田誠一	
	24.49	9.9	6.5	2/	-	-	4/5	7/10	25×10cmB	佐藤裕久	
	30.53	10.0	6	2	-	-	3/5	6/10	25×10cmB	"	
	31.54	10.1	4	2	-	-	3/5	4/10	25×10cmB	"	うす曇り



(写真 a) 177P/Barnard 2 2006,08,13

20h 00m(UT) 140s x2 RGB 20cm Schmidtcamera + CCD

© 2006 Michael Jäger + Gerald Rhemann



(写真 b) 177P/Barnard 2 2006,08,25

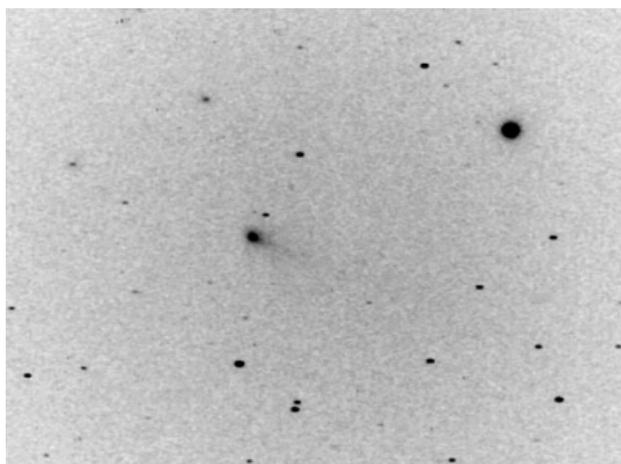
22h 11.2m ~ 20.0m (JST) exp.60s x7 MN61 + CCD

三重県伊賀市上野 田中利彦氏

C/2006 M4 (SWAN)

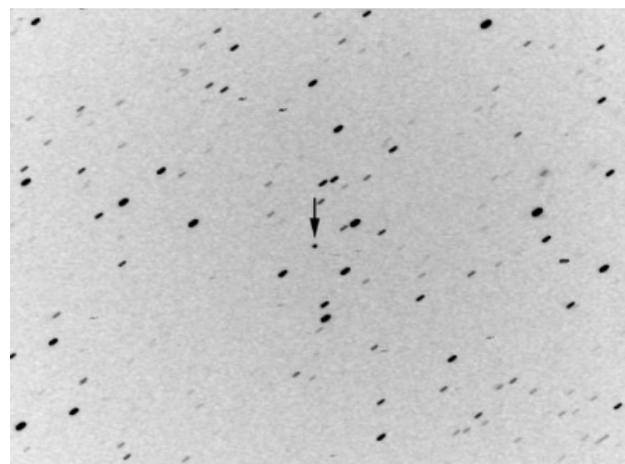
8月中は地上からの観測はなかったが、筆者が8月15日のSOHO/LASCO C3の03:42、04:18、04:42UTと05:42、06:18、07:42UTのそれぞれの3枚合成画像を作ると、SA098815(8.9等)とTYC831-950-1(9.8等)の間にそれらしい光芒があった。光度は9.8-10.0等であった。

なお、この彗星は、9月下旬に暁の東天低く昇ってくる。緯度の高い観測者の方が有利であるが、最初に捉えるのは誰であろうか。



(写真 c) 4P/Faye 2006,08,26

0h 31.5m ~ 40.9m (JST) exp.60s x7 MN61 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) P/2006 HR₃₀ Siding Spring 2006,08,25

23h 11.3m ~ 20.3m (JST) exp.60s x7 MN61 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

Object CLA001

8月17日、NEO Confirmation PageにCLA001という天体らしきものの追跡位置推算表が掲載された。Arkansas Sky ObservatoryのP. Clay Sherrod (H45)が、2002 TC₉を観測中に逆方向に移動する天体を発見したという。この天体は大きく(19.7)、ぼんやりとした18.9等ぐらいのものであったが、確認されなかった。

発見彗星は次のとおり。

C/2006 02 (Garradd)

7月30.39日 UT、G. J. Garradd は、Siding Spring の0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡によって得た CCD 画像から彗星を発見した。(IAUC 8734, 2006 Aug. 1)

P/2006 HR₃₀ (Siding Spring)(写真 d)

4月20.78日 UT、Siding Spring サーベイによって発見された小惑星状の天体が、その後2つのグループによって彗星状であることが報告された。(IAUC 8735, 2006 Aug. 3)

C/2006 P1 (McNaught)

8月7.51日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring サーベイで0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡により月光の中で得た CCD 画像から彗星を発見した。(IAUC 8737, 2006 August 8)

C/2006 Q1 (McNaught)

8月20.74日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring サーベイで0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡により得た CCD 画像から彗星を発見した。(IAUC 8742, 2006 August 29)

P/2006 Q2 (LONEOS)

8月29.27日 UT、LONEOS サーベイによって発見された小惑星状天体が、NEO Confirmation Pageに掲載後 CCD 精測位置観測者によって彗星状であることがわかった。(IAUC 8743, 2006 Aug. 31)

その他比較的明るい彗星は、4P/Faye (写真 c)、73P-C/Schwassmann-Wachmann 3、117P/Helin-Roman-Alu 1、29P/Schwassmann-Wachmann 1 などであった。